

## 令和6年第2回定例会 教育厚生委員会 報告（要点筆記）

### 議案第46号 四国中央市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

質 疑

○委 員

この条例の家庭的保育事業に該当する市内の事業所の有無について伺う。

○理事者

家庭的保育事業に該当する事業所は、市内には3園の施設がある。

○委 員

該当施設の名称を伺う。

○理事者

それぞれの名称については、私立保育施設しゃぼん玉、私立ひまわりハッピー保育園、私立ヤクルト法皇保育園である。

### 議案第47号 四国中央市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

質 疑

○委 員

この条例の対象となる市内の事業所の有無について伺う。

○理事者

特定教育・保育施設については、27施設が該当する。内訳については、公立認定こども園が3園、公立幼稚園が4園、公立保育園が10園、私立認定こども園が5園、私立保育園が5園である。

○委 員

この条例による改正部分である第23条には、運営規定の概要などの重要事項を掲示しなければならない旨が記載されているが、このような情報をホームページ等で見られるようにするという理解で間違いはないか伺う。

○理事者

これまでは、紙媒体での園からの書面配布、掲示板への掲示等により公表を行っていたものが、ホームページ等の電子媒体で閲覧できる形とすることが義務化されたものである。

○委 員

記録媒体について、保存期間が定められているものであるか伺う。

○理事者

保育施設において、書類により異なるがそれぞれ保存期間は定められている。

○委 員

種類によっては、永久的に保存するものがあるのか伺う。

○理事者

卒園児台帳については、永久的に保存するものである。

## 議案第48号 四国中央市子ども若者発達支援センター条例の一部を改正する条例について

質 疑

### ○委 員

本改正によって、四国中央市子ども若者発達支援センターP a l e t t eにおけるサービスの内容について変更があるものか伺う。市民の意見として、障がいが複合化している場合にも、P a l e t t eで多面的に受け入れてもらえないかという声を聞いている。

### ○理事者

医療型児童発達支援センターには、診療所と同等の設備及び人員の配置が求められるが、その対応は困難であるため、今回の児童福祉法の改正によるP a l e t t eの事業内容については、変更はない。P a l e t t eの事業としては、市民の要望にお応えできるよう、今後の取組について検討を進めているため、事業内容等に変更がある場合には、改めて相談等させていただきたい。

### ○委 員

具体的な例として、発達の段階で障がいがある場合に、さらに聴覚障がいもあるためにコミュニケーション不足となってしまうケースなどがあるが、これはP a l e t t eの対応の中には含まれないものであるか伺う。例えば無音室を設置して聴力測定を行うなどの対応は考えられないか。

### ○理事者

聴覚障がいについては、愛媛県視聴覚福祉センター等と連携しながら療育などを行っている事例はある。専門的な設備については、現時点ではないが、医師等と連携しながら、今後検討させていただきたい。

## 議案第49号 四国中央市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例について

質 疑

な し

## 議案第52号 令和6年度四国中央市一般会計補正予算（第2号）〔所管分〕

質 疑

### ○委 員

スクール・サポート・スタッフ配置事業について、今回の補正予算を含め、今年度は小中学校合わせて何校に何人を配置できるものであるか伺う。また、それに合わせて教員等の働き方改革などへの効果についても伺う。

### ○理事者

今年度の配置人数については、25名を予定している。現在、16名の配置が完了し、7月1日からは、新たに8名が配置される予定となっている。残り1名の配置についても、早急に希望者の面接等を実施し、その後配置できる予定である。現時点で全25校のうち、24校について、1校につき1名を配置する形となっている。令和4年度から配置

を行っており、毎年、増員を求める要望があった中で、昨年度までは、1名が2校にまたがって配置されている状況であったが、今年度においては、全ての学校に配置できることとなった。

また、事業の効果について、学校側からは教員の負担軽減につながっているとの報告を受けている。

#### ○委員

太陽の家整備事業について、面積変更の経緯を伺う。

#### ○理事者

面積について、設計委託の発注時には、240平米を想定していた。その後、障がい福祉に関わる方々の意見等もあり、検討した結果、299平米まで面積を広げることとしたものである。

#### ○委員

対象の福祉型障害児入所施設について、建屋の形状、配置などの変更等を生じるものであるか伺う。

#### ○理事者

配置については、当初はP a l l e t eの北側を想定していた。その後、P a l l e t eとの連携を考える中で、当初の想定地にこだわらず、P a l l e t e敷地内での整備を行うことも検討しているため、配置の変更を行う可能性はある。

#### ○委員

放課後児童健全育成事業について、夏休み中の放課後児童クラブの指導員不足を補うための公益社団法人四国中央市シルバー人材センターへの指導員補助業務委託は、普段から実施しているものであるか伺う。また、その事業では指導員の取り込みにはつながらないと思われるが、事業の考え方についても伺う。

#### ○理事者

指導員補助業務については、平日は川之江地区、三島地区、土居地区にそれぞれ1か所ずつ補助の形で業務に当たっていただいている。夏休み中については、当初は予定していなかったが、指導員を補助するアルバイト等の不足を補うため、今回の補正予算により夏休み中も4時間ずつ業務に当たっていただくことを想定している。

事業における本業務委託については、あくまでも指導員の補助という形であるため、業務内容としても指導員の代わりを務めることを想定しているものではない。

#### ○委員

夏休み中については、今回の公益社団法人四国中央市シルバー人材センターへの委託のほか、高校生も業務に当たっていたと思うが、その状況について伺う。

#### ○理事者

高校生については、現在、アルバイトとしての募集を行っている。昨年度は、アルバイトの予定日に補習が入り、来られなくなって困ったという現場からの報告等があったため、今回は補習等の可能性がある生徒は応募から除いていただくよう、学校にお願いをしている。

#### ○委員

市発足20周年記念事業のスポーツ協会補助金について、事業を盛り上げるためには必要であると考えている。現在、部活動の地域移行の検討等もある中で、それとともに公

益財団法人四国中央市スポーツ協会とどのように絡んでいくかを考えるよいタイミングでもある。また、他市では徳島県阿南市が野球による地域活性化の取組を行っている事例などもあった。スポーツにお金をかけることに対して、いつときの効果ではなく、それがどのように展開していくのか考え方について伺う。

#### ○理事者

市発足20周年記念事業については、公益財団法人四国中央市スポーツ協会及び各種競技団体と共に作り上げていく事業として、各種競技団体の意識を高めながら、地域移行についても御協力いただけるよう、今後もさらなる協議を続けていきたいと考えている。

#### ○委員

小学校施設整備事業及び中学校施設整備事業について、以前より各学校の危険箇所等の洗い出しと早急な対応及び整備が求められていたことに対して事業が進んでいることを理解した上で、洗い出しと対応については各学校、抜けがなく実行できているかを伺う。

また、今回の対象事業の金生第一小学校歩道橋塗装改修に関連して、地域からは太鼓台がその下を通ることができるように、歩道橋の高さを上げてほしいという要望も出ているが、それについての検討の余地があるかについても伺う。

#### ○理事者

各学校の危険箇所については、各学校と連絡を取りながら危険箇所を洗い出す中で、設計を行う必要が生じたものがあつたため補正予算を計上したものである。また、年度当初の予算において、危険度の高い箇所を優先し、要望のあつたものへの対応を進めている。

歩道橋の高さを上げることについては、大人太鼓台ができた当初より要望を受けていたが、そのためには歩道橋自体のやり替えが必要であり、多額の費用が発生する。現在の歩道橋については、構造上の問題も発生しておらず、塗装改修を行うこととする旨、地元の太鼓台関係者に説明を行っている。

#### ○委員

小中学校の危険箇所の洗い出しによって出てきたニーズに対して、却下をすることなく対応できているか伺う。

#### ○理事者

現時点で、対応が終了していないものについては、却下等ではなく、工事など設計を経て着手するものもあるため、それらについては時間がかかるものであることは了承いただきたい。

#### ○委員

こども政策推進事業費補助金に含まれる保育所等における性被害防止対策に係る整備等支援事業について、内容を伺う。

#### ○理事者

事業内容については、全ての子供、若者が安心して過ごせる社会の実現に向け、保育所等においてパーティションの設置による子供のプライバシー保護を行い、性被害防止対策に係る設備等の支援を行うものである。補助金については、1施設当たり、10万円を上限として、希望する園に対して交付する予定としている。

○委員

希望する園のみが補助対象であるか伺う。

○理事者

全ての園に対して希望を伺っているが、既に対策を行っている園もあり、それらの園は希望していないものである。

○委員

キッズプレイミュージアム（仮称）整備基本計画策定業務について、タウンコメントとして寄せられた意見等を伺う。

○理事者

四国中央市子育て環境整備基本構想のキッズプレイミュージアム編に関するタウンコメントについては、多くの方から意見が寄せられており、その中でも望まれている施設であると感じられる意見が多かった。寄せられた意見に関しては、基本構想自体の変更を伴うものはなかったため、2月にお示しした基本構想のまま策定を進めたものである。

○委員

整備の実施については、うれしく感じているが、当該基本構想において基本構想において十数億円の予算規模であったことを受けて、予算削減の方法として、ショッピングセンター内、市の施設、空き物件などに整備をする等、今後の検討方針について伺う。

○理事者

空き物件等の活用については、現在予定している整備の延べ面積は1,600平米程度である。また、建物のみではなく、遊具などを設置できる公園も併設したいと考えているため、そのスペースを確保できるものは、現在ある施設、空き物件等で検討することは難しいと考えている。

○委員

企業版ふるさと納税を活用した電子書籍の購入費について、それによって愛媛県内の位置づけがどうなるのか、また、成果及び効果についても伺う。

○理事者

今回、1,000万円の寄附を活用し電子書籍を購入する予定で、約2,000冊の蔵書ができるものと考えている。それにより、児童書については、県内で最大の蔵書数になると思われる。

今回の選書に当たっては、前回と同様に子供たちの意見も取り入れたものとし、調べ物など普段の学習に活用できる蔵書も考えているため、大いに子供たちに活用してもらうことを期待している。

○委員

電子図書館については、既存のどの図書館で運営されているものか伺う。

○理事者

電子図書館については、既存の4つの図書館のどこかに属するというものではなく、全く別の図書館としての運営がされている。

**議案第54号 令和6年度四国中央市介護予防支援事業特別会計補正予算（第1号）**

質 疑

な し

## 5年陳情第2号 保育士配置基準の改善及び保育士の処遇改善を求める陳情書

### 意見等

#### ○委員

保育士の配置基準については、家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の改正もあった中で、本市においても既に改正後の基準を満たした配置が行われており、また、給与の見直しも進められているため、現時点では状況を見守る形として、継続審査としたい。

#### ○委員

給与について、平成25年以降では23%上がっているデータもあるが、一方で全職種の平均と比較すると保育士の給与は年間約50万円低いというデータもあるため、より改善する余地はあると捉えられることを含めて、今後の国の動向も注視しながら、継続審査としたいと考えている。

## 5年陳情第5号 学校給食の無償化を求める意見書の提出を求める陳情について

### 意見等

#### ○委員

3月の定例会内で関連する質問を行い、市長からは物価高騰等の状況の中で、令和5年度に引き続き、本市においては約3億2,930万円の当初予算により、国の交付金も使い、学校給食費無償化事業を実施するなどの前向きな対応をしており、あとは国の動向を見ろという話もあった。

陳情内にある日本国憲法第26条第2項については、教育を受ける権利及び義務についてのものという解釈で、給食費を含むことについては拡大解釈と考えられる。

本市でも前向きに事業を実施していることに併せて、全国の自治体でも約3割が小中学校の給食費の完全無償化を実施している。しかしながら、実施の難しい自治体が出てきている状況もあるため、本陳情については継続審査とし、動向を見てまいりたいと考えている。

## 6年陳情第1号 加齢性難聴者への支援に関する陳情について

### 意見等

#### ○委員

本陳情については、国に対して、補聴器購入への公的補助制度を創設するように、意見書を提出することを要望する趣旨だと理解している。その上で、加齢性難聴者は65歳以上の3人に1人と推定されており、国内の高齢者は約3,600万人と言われていることを考えると約1,200万人が該当するものと想定される。例として対象者に1万円を補助する制度を創設した場合、1,200億円の国家予算が必要となる。少子化対策予算の確保に四苦八苦している国の状況に対して、その制度を求めることは簡単ではない。

難聴を早期発見し、医療機関と連携した仕組みの構築を進めるなどにより、難聴のリスクを啓蒙することを大事にするべきであると考えている。しかしながら、市民感情としては、補聴器購入への公的補助があった方がよいという陳情趣旨も理解できるため、継続審査によりさらに勉強してまいりたい。

## 主要事業 「小中学校施設照明LED化推進事業」

### 質 疑

#### ○委 員

三島南中学校は、令和7年度工事予定の6校に含まれているか伺う。

#### ○理事者

中学校の校舎棟については、令和7年度の実施予定である。

#### ○委 員

今年度実施の中学校の体育館について、対象となった理由を伺う。

#### ○理事者

今年度実施の3校の体育館については、まだ水銀灯が残っていることから今年度に整備を行うものである。それ以外の中学校体育館については、全てLED化が完了している。

#### ○委 員

今年度の入学式の際に、電灯が切れていたものが見えていたが、状況を伺う。

#### ○理事者

早期にLED化を行った場所については、電灯が切れている部分が出ていることを確認しているため、早急に交換対応を進めてまいりたい。

#### ○委 員

LED化を進めることについては理解しているが、子供が減少する中で、例えば児童数が十数名の小学校もあるが、どれだけの教室をLED化することが必要か設定をすることも大事であると考えている。LED化を進める教室数が適正であるか伺う。

#### ○理事者

蛍光灯については、器具等は生産が終了しているため、当初より現在の電灯を全てLED化する予定で事業を進めている。

#### ○委 員

学校では、使用している教室の補修を行うため、使用していない教室から部品等を取り外して補修する教室に持ち込むこともあると聞いており、使用していない教室があると認識しているが、状況を伺う。

#### ○理事者

学校との協議においては、普通教室としては使用していない教室は多数あるが、使用すること自体のない教室についての報告は受けておらず、全ての教室が何らかの形で使用されているため、全ての教室のLED化を進めるものである。

#### ○委 員

使用しない可能性がある教室をLED化するものではないという認識でよいか伺う。

#### ○理事者

学校との協議により、使用をするものであるため整備を進めている。

## 主要事業 「放課後児童健全育成施設整備事業」

### 質 疑

#### ○委 員

寄附された用地について、以前はどのような土地であったか伺う。

○理事者

現在は、雑種地であるが、元々は田であった。

○委員

整備後は、現在の施設は撤去されるものであるか伺う。

○理事者

現在の施設については、移転後に解体、撤去を行う予定である。